がん化学療法レジメン

第1版	改訂日	

登録日	R4.1.13	実施区分	□ 入院のみ ■ 入院及び外来	初回入院	■ 必要
レジメン番号	骨髄腫(MM)−028	診療科名	血液内科		
レジメン名	DPd療法				
レジメン補足	ダラツムマブ+ポマリドミド+デキサメタゾン				
がん腫	再発又は難治性の多発性骨髄腫				

薬剤名	漏出	投与量	1 (週)							2							3							4						
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
ダラツムマブ (ダラザレックス)		16mg/kg	●							○							●							○						
ポマリドミド (ポマリスト)		4mg (内服)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							
デキサメタゾン (レナデックス)		40mg/日 (※)	●							●							●							●						
1コース期間	28 日		目標コース数							□有 (コース)											■無 (PDまで)									
点滴時間	(初回) 8時間 (2回目) 5時間 (3回目以降) 4時間																													
注意事項など	infusion reaction予防のため、ダラツムマブ投与1～3時間前に副腎皮質ホルモンとアセトアミノフェン(650-1,000mg)、抗ヒスタミン剤を投与すること (モンテルカスト10mg経口投与も考慮する) (セット処方あり；入院注射オーダ→「セット」→「全科セット」→「血液内科用」→「ダラザレックス前投薬」) 《ダラツムマブの投与について》 1-2コース目はday 1, 8, 15, 22に、3-6コース目はday 1, 15に、7コース目以降はday 1のみに投与すること 7コース目以降は(MM-12)ダラツムマブ単剤維持療法のレジメンに移行 《デキサメタゾンの投与について(※)》 内服もしくは静脈内投与を行う 週1回40mg/日を投与 (臨床試験ではダラツムマブ投与日とその翌日に20mgずつ分割して投与) ★ダラツムマブ初回投与時は、輸血部 (7204) に連絡すること																														

Day 1, 8, 15, 22

《メイン》 インラインフィルター付きの輸液セット

投与順序	投与薬剤名	投与量単位	点滴時間投与方法
①	生食	100mL	ルートキープ
②	生食(＃)	1000mL	**右図(※)** 点滴
	ダラツムマブ	16mg/kg	
②の投与終了後、①の残りの生食でフラッシュ			

＃：希釈用の生食について

初回投与開始時から3時間以内にインフュージョンリアクションが認められなかった場合、500mLにすることができる

※投与速度※

《初回、2回目》

開始−1時間：50mL/H
1時間−2時間：100mL/H
2時間−3時間：150mL/H
3時間−終了：200mL/H

《3回目以降》

開始−1時間：100mL/H
1時間−2時間：150mL/H
2時間−終了：200mL/H

初回及び2回目投与時に最終速度が100mL/H以上でインフュージョンリアクションが認められなかった場合、100mL/Hから開始することができる。